

女性部意見交換会資料（意見まとめ）

令和6年2月14日実施分

意見	回答部署	回答
<p>Q 1. 令和6年度にあいち海部と海部東が合併しますが、女性部活動は初めから一緒ということはないと思います。今後どのように活動できるか心配でもありますが期待でもあります。</p> <p>(津島) 日比野 鏡子</p>	総務部	<p>合併後は本部活動を中心に少しずつ活動をともに開催できたらと考えております。活動内容等につきましては、皆様からのご意見をもとに様々なイベントを検討し、交流を深めていけたらと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。</p>
<p>Q 2. 来たる令和6年7月にJA海部東と合併し、新生JAあいち海部が誕生します。そこで、JAあいち海部女性部も、JA海部東女性部と統合し、新たな女性部が設立することになると思いますが、統合に向けたこれまでの経過および今後の計画、体制等をお聞かせください。</p> <p>(十四山) 加藤 和奈</p>	総務部	<p>これまで互いの本部役員との情報交換会を1回開催し、互いの女性部活動の内容について話し合いを行っています。</p> <p>また、事務局レベルでも専門部会の会議において現状と課題の洗い出し、今後の対応方針について協議し、その内容をお互いの本部役員会で共有しながら意見の取りまとめを進めています。</p> <p>現状の組織体制としては、海部東女性部は支店に女性部の事務局担当がそれぞれ配置され、支店単位の支部活動を中心に活動されています。</p> <p>合併後については、支店単位の17支部、北部・南部・東部の3地区、本部の3段階の組織体制とすることで検討を進めています。当面17の支部長が、地区役員、本部役員の構成員として組織し地区活動・本部活動を企画立案しながら推し進めることとしています。</p> <p>直近の予定としては、年度明けに各JAで女性部総代会を開催し、7月以降、組織統合に伴う全体会を計画することで検討を進めています。</p>
<p>Q 3. 女性部の各部行事ですが、体操教室など月1回ではなく、2回実施することは可能でしょうか。</p> <p>(立田) 濱田 恵美子</p>	総務部	<p>女性部活動の活性化に対し具体的なお意見ありがとうございます。今後の活動につきましては、内容・予算・開催場所などの活動計画の観点から、役員会で検討、協議していくこととなります。また、部員の皆様からのご意見を役員の方を中心に取りまとめたいただければ幸いです。</p>
<p>Q 4. コロナ禍でいろいろな行事もなくなりましたが、少しずつ行えるようになってきました。部員の皆様からまたリング狩りに行ってみたいと意見を聞きました。今後も行えるように検討していただけないでしょうか。</p> <p>(十四山) 江上 貴美子</p>		

意見	回答部署	回答
<p>Q 5. 調理室がないため会議室で行った五平餅作りでしたが、支店長さんや職員の方々のご支援や協力で何とか支部活動として行うことができました。工夫すればできるものだと改めて実感しました。ただ、参加する女性部員は決まった人ばかりです。新しい女性部員を増やすためにも支店のどこかにチラシを貼り、体験会に参加できるような仕組みがあってもいいのではないのでしょうか。</p> <p>(蟹江) 戸谷 房子</p>	<p>総務部</p>	<p>支部活動へのご参加ありがとうございます。五平餅作りはお米の消費拡大に繋げる活動として開催しました。今後とも様々なイベントをご検討いただき、地域活動に貢献できたらと思います。また、女性部活動を幅広く地域住民に認知いただくために、体験入部やチラシなどを用いてより身近に感じていただけるようなPR活動も行っていきたいと考えております。さらに、女性部役員の皆さまからもお声がけいただくなど、ご協力のほどよろしくお願い致します。</p>
<p>Q 6. 組織表がコンパクトになって、各個会員さん同士の関係がより薄くなり、意見の吸い上げや、各行事への参加率が下がっているように思います。以前のような回覧(各班で)方式にかわるような仕組みを考えていただけないのでしょうか。</p> <p>「〇〇さん行くなら私も行こうかな」と思い、参加者が増えると思います。</p> <p>(市江) 山田 茂代</p>	<p>総務部</p>	<p>コロナ禍ということもあり、個人宛に案内文書等お送りしておりました。ですが、コロナも2類から5類へ変わり、コロナ禍前のような活気に戻りつつあります。回覧方式により、部員同士でのコミュニケーションの場に繋がるのであれば、女性部役員の皆様とともに検討して参りたいと思います。</p>
<p>Q 7. 今年度、女性部ではお米を使ってパンやピザを作り、子育て世代が興味をもって作れる料理を中心に「米こめ食らぶ」が活躍してくれています。しかしながら、女性部員は高齢化が進み減少傾向です。JAの女性職員を率先して参加させてはいただけないのでしょうか? JAには20代から50代まで幅広い年齢層の職員がいらっしゃいます。皆さんの興味を把握してそれぞれの年齢層にあった事業を展開できるようになると良いと思います。</p> <p>(鍋田) 吉川 祐美子</p>	<p>総務部</p>	<p>女性部員の減少と高齢化はとても重要な課題と認識しております。今年度から米こめ食らぶの方を中心に、ときめきレディースを開催しました。子育て世代の方々へもっと認知していただけるよう、努めて参ります。今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。</p> <p>また、JA女性職員の参加については一部職員が参加している経緯もありますが、参加強制はできないものの、今後、体験入部も含めて積極的に参加できる体制づくりを検討いたします。</p>

意見	回答部署	回答
<p>Q 8. JA女性部活動もコロナ禍前に戻りつつあります。合併もあり、いろいろ考えていただきありがとうございます。飛鳥支部からは本店が遠く、本部活動の総会、健康会議への参加が少なく残念に思っています。南部営農センターでの活動も考えていただきたいです。南部支部だけの活動も考え、地元の女性部員の参加を増やせるといいと思っています。</p> <p>(飛鳥) 山田 早由美</p>	<p>総務部</p>	<p>女性部活動の活性化に対し具体的なお意見ありがとうございます。総代会につきましては、コロナ禍ということもあり、書面での開催や規模を縮小して開催してはいましたが、今年度の開催方法等につきましては、本部役員会にて検討し、協議を進めて参りたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。</p>
<p>Q 9. 南部営農センター2階学び舎にて、3B・ヨガをやっています。年齢と共に体の衰えを感じるようになり、最近"フレイル"をよく耳にするようになり健康寿命を少しでも長く維持したく参加しています。体を動かすことにより体が軽くなり、仲間もでき、多少なりとも丈夫な体になったかなと思います。これからも続けていきたいと思っています。</p> <p>(弥富) 服部 美貴子</p>	<p>総務部</p>	<p>女性部活動への積極的なご参加ありがとうございます。女性部員の皆様方からのご意見・ご提案をいただき、より一層女性部活動を盛り上げて参りたいと思っております。今後とも女性部活動へのご協力のほどよろしくお願い致します。</p>
<p>Q 10. 以前地産(レンコン・トマト・いちご)を使ったクッキングフェスタを開催していたと思いますが、再度行う予定はありますか？</p> <p>(弥富) 服部 美貴子</p>	<p>総務部</p>	<p>クッキングフェスタは、重点活動の1つとして掲げている「食と農を地域につなぐ活動」での一環として開催してはいましたが、コロナ禍となり活動を自粛、さらには令和3年度の本部役員会にて開催の有無を協議した結果、予算等の都合も考慮したうえで、今後クッキングフェスタは開催しないことと決定いたしました。再度開催する予定は現状ありません。</p>
<p>Q 11. 私は女性部のことだけしか知りませんが、JAにはそれぞれの部会とか青年部等もあります。それぞれに良いところがあり、問題点もあると思います。それぞれのエリア単位くらいで年に何回か意見交換や交流会があると良いと思います。</p> <p>(鍋田) 吉川 祐美子</p>	<p>総務部</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。それぞれの担当者へ確認し、開催可能であれば、本部役員会にて協議のうえ検討し、実践に繋げていけたらと思います。</p>

意見	回答部署	回答
<p>Q12. 令和6年7月からの理事の改選期を控え、女性部からの理事の推薦枠について、資格要件が少し変わったと伺いました。その理由を説明していただきたいのと、これまでの女性部からの理事選出の経緯についても教えてください。</p> <p>(佐織) 松永 恵美子</p>	<p>総務部</p>	<p>J A 役員の女性登用制度が導入され久しいが、先の J A 全国大会では女性役員比率を 15% 以上を目標とすることが決議され、当組合も合併推進協議会の中で、目標を達成するために女性役員の選出に関する申し合わせが協議されました。</p> <p>その結果、合併当初は地区選出役員のうち北部 1 名、南部 1 名、東部 2 名、全域枠で 1 名、計 5 名以上を女性役員とすることとなりました。(女性比率 15.6%) そのうち全域枠については、女性部や助け合い組織から選出することとし、合併初年度は北部、次期 8 年 6 月期は南部、11 年 6 月期は東部とする輪番制が合併協議で決定されています。</p> <p>J A 役員の資格要件については、法令上、正組合員や認定農業者、実践的能力者が一定数以上必要であるとか推薦基準として 70 歳以下の方などの定年制の申し合わせなどが決められています。</p> <p>これまで、当組合は女性理事も正組合員又はその家族が望ましいとしていましたが、女性活躍推進法の趣旨を鑑み、J A 女性組織の役員または歴任者であれば組合員資格を問わず、実践的能力者として役員推薦することが出来ることとなりました。</p> <p>現在、助け合い組織から立田地区の伊藤里海さんが女性組織枠で理事を務めて頂いています。この度、当女性部の本部役員を務めて頂いている馬淵さんが新 J A の理事候補者として選出されています。</p>
<p>Q13. 阪神大震災・東日本大震災そして元旦から能登半島地震が起きました。東海地方もいつ同じことが起こってもおかしくない状態だと思います。J A では災害に備えて組合員に向けての備蓄等はあるのでしょうか？地域に密着した「頼れる J A」としてできることがあると思いますが、何か考えていただけないでしょうか。</p> <p>(鍋田) 吉川 祐美子</p>	<p>総務部</p>	<p>大規模災害を想定した事業継続計画 (BCP) を各事業別に設定し、被災してから事業復旧するまでの対応マニュアルを策定しています。</p> <p>備蓄品については、この BCP に基づき、事業所ごとに 3 日間を目安に非常食や飲料水、簡易トイレなどの衛生用品などを備蓄していますが、組合員向けの備蓄品としては特に用意していませんが、余裕のある備蓄品を組合員に提供することは可能であると考えています。</p> <p>また、県下 J A や全国の J A グループでは被災地支援として中央会が窓口となり、必要な支援物資を被災地へ送る体制が構築されています。この度の能登半島地震においても石川県中央会からの支援要請のあった飲料水、非常用トイレ、ブルーシートなどの物資を愛知県下の J A が持ち寄り被災地へ届けています。当組合からも簡易トイレ 3000 個を提供致しました。</p> <p>(令和 6 年 1 月 24 日付農業新聞)</p>

意見	回答部署	回答
<p>Q14. コロナ禍も少しずつ収まってきています。マスクなしでも行動されています。ここ数年フェスタも開催されていません。前のような大規模はできないと思いますが、女性部として何かお手伝いできればと思います。</p> <p>(津島) 日比野 鏡子</p>	企画部	<p>以前のような規模でフェスタを実施することはない。今後は支店を拠点とした支店核活動を通じ、食と農の結びつきの大切さを知ってもらう機会づくりに努めて参りたいと思いますので、ぜひ女性部員皆様の参画をお願いいたします。</p>
<p>Q15. JAグループでは、JA運営に女性の意見を積極的に取り入れるため、女性参画目標として、正組合員30%。総代15%、理事等15%を掲げています。現在、大きな課題である働き手の減少や激変する過酷な環境の変化などに対応するためにも幅広い人材や知見を活用することが不可欠だと思います。時には労働力であり、家事をこなし、家計を預かり、家族の健康管理や子育てをこなしてきた女性だからこそ、地域農業が活性化するための意見も得られると思います。そこで、この女性参画目標の達成に向けて、当JAにおける具体的な取り組みや方針などがありましたらお聞かせください。</p> <p>(十四山) 加藤 和奈</p>	企画部	<p>女性参画目標の当組合の現状は正組合員21%、総代は15.6%、役員13.3%となっています。女性正組合員加入促進については、1戸複数正組合員の加入促進に合せて取り組んでいます。JA役員女性の登用については合併協議の中で15%を達成するよう各地区に割り当てています。</p> <p>総代会資料「協同の成果」に令和5年度の重点施策として女性組織活動の維持・活性化を掲げ以下の4点を具体的な取り組み策としています。</p> <p>①「健全な食と農を地域につなぐ活動」を実践し、地域に根ざした健全な食生活の普及を目指します。</p> <p>②健康な状態で生活できる時間（健康寿命）を延ばす「生涯現役健幸活動」に積極的に取り組みます。</p> <p>③コロナ禍による「新しい生活様式」を踏まえ、各種教室、グループ活動の活性化に取り組みます。</p> <p>④支店を拠点とした活動を展開するとともに、女性組織活動の魅力を地域に発信します。</p> <p>食や農、くらしに関心のある女性が集い地域づくりに積極的に取り組む女性部活動そのものが、女性活躍の場の提供であり参画の促進であると考えます。</p> <p>今後も女性の視点を取り入れた事業運営に努めて参ります。</p>
<p>Q16. 若い世代に繋ぐJAの在り方についてお聞かせください。</p> <p>(鍋田) 小出 真裕美</p>	企画部	<p>若年層世代はデジタルに精通しているためSNSの活用が有効と認識し、ホームページやLINEによる情報発信に取り組んで参りました。今後もSNSをブラッシュアップさせるとともに、併せて組合員訪問による接点強化によりJAファンづくりに努めて参ります。</p> <p>(相続や資産形成相談などのライフプランサポート活動の実践)</p>

意見	回答部署	回答
<p>Q17. 以前JAの支店には地元の方が多く、安心できる場所がありました。否、私が歳を重ね、若い方がわからないかもしれませんが、共済についても十四山支店まで行かなくてはならないようです。電話で済むこと、書類の受け渡しは飛鳥支店でお願いできますが、共済の見直し等、土日曜日予約をすると良いみたいですが、なかなか面倒です。各支店のライフアドバイザーの方をお願いするとよいのでしょうか？</p> <p>(飛鳥) 山田 早由美</p>	金融共済部	<p>大変ご迷惑をおかけしております。共済窓口の統合については、集約元支店管内の利用者様からは集約先窓口までの距離が遠くなったのご意見をお聞きしており、できる限り利用者様のご要望に応じてライフアドバイザー中心に訪問するなどして対応しています。</p> <p>土曜祝日営業については、令和5年4月より平日にご来店できない方等に対して利便性向上に努めています。</p> <p>今後も皆様のご意見と様々な観点から運用について検討してまいります。</p>
<p>Q18. 菜々耕房ヘトマトの支柱を買いに行った時、3つ欲しかったのに2つしか置いてありませんでした。やっとのこと店員さんを見つけ「もう1つ欲しい」と告げたら「ここにあるだけなので本店まで行ってほしい」と言われました。車を走らせ本店へ行ってみると本店にはよりどりみどりでたくさん揃っていましたが、価格は少し高かったです。菜々耕房でも品数をもっとそろえておいてほしいものです。</p> <p>(蟹江) 戸谷 房子</p>	園芸部	<p>大変申し訳ございません。菜々耕房と愛菜耕房とでは店の規模も違うことから品揃えが異なることはご了承いただきたいと思えます。しかしながら、出来る限りお客様のご要望にお応えできるよう季節に応じた品揃えに心掛けることと、売れ筋商品の欠品の無いよう商品仕入れに気を付けて参ります。</p>
<p>Q19. 近頃では、食と農の乖離が進んでいると言われていています。特に若い子育て世代においては、食に対する意識は高いものの、農地に対する重要性、生産現場の実態や栽培過程に不可欠な作業などの理解は残念ながら乏しく、まるで収穫された野菜もスーパーに並ぶ、ただの品物とだけしか見ていないという歪が生じている気がします。そこで、JAの役割として食農教育を更に充実させ、子どもや若い世代に食と農の結びつきの理解を深めるための事業を展開していただきたいと思えます。</p> <p>(十四山) 加藤 和奈</p>	園芸部	<p>当JAでは平成21年に食農教育担当者を配置後、積極的に食農教育活動を行っています。小学校に出向く「出前授業」では野菜や米の栽培指導と地域農業について紹介しています。また、小学生を迎え入れる「お出迎え授業」ではJA集出荷施設や圃場見学、わいわい農場での収穫体験を行うなど、地域の特産物の紹介や農産物がどのようにして生産現場から流通していくのか紹介しています。他にはJA部署間連携による収穫体験をJA利用者や近隣住民親子を対象に行っています。今後はJAの役割を発揮するために下部組織である女性部等のお力もお借りして、より一層、充実した食農教育活動を展開していきたいと考えます。</p>
<p>Q20. 先日、GC津島店に出かけた時のことですが、入り口でカートの空きを待っていると、年末で買い物客が多くてなかなか空気がなく、戻ってきて直ぐ新しい人が持って行ってしまいますので、ベンチで待っていると職員さんが気にかけてくれていたのか、後ろから来た人に私が待っていることを伝えてくれました。ありがたかったです。仕事をしながら、いろいろ気遣いに感謝でした。</p> <p>(佐織) 鈴木 章子</p>	園芸部	<p>感謝のお言葉をありがとうございます。</p> <p>今後とも皆様により一層楽しく、そして気持ち良くお買い物していただけるよう、店舗スタッフ一同取り組んでまいります。</p>

意見	回答部署	回答
<p>Q 2 1. 実家の母が J A のケアマネージャーさんにお世話になっております。姉夫婦と同居ですが、入退院を繰り返しており、親身になって敏速に動いてくださり、姉がいつも心強いと言っています。感謝の念でいっぱいです。ありがとうございます。</p> <p>(立田) 馬淵 秀子</p>	<p>生活部</p>	<p>大変励みになるご意見ありがとうございます。今後も組合員の皆様が安心して生活できるよう相談機能の充実に努めてまいります。「介護保険はどのように申請するの?」、「介護保険サービスを利用したいけど、どんなことがでしてもらえるの?」、「病院を退院するけど自宅での生活が不安…」など介護に関する相談に対応させていただきます。</p>